

(株)鍋谷木材 環境行動計画

取組方針

(株)鍋谷木材の取り扱う商材である木材は環境問題において重要な役割をしていると認識しています。

当社の事業活動を継続することの意義であることの一つに「炭素固定を特徴とする木材を有効活用することで地球温暖化防止することを認識し、木質化社会がさらに発展していくように目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 木質化社会へ推進・提案
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成26年7月29日

株式会社 鍋谷木材

代表取締役社長 鍋谷 進

3. 環境負荷の低減目標

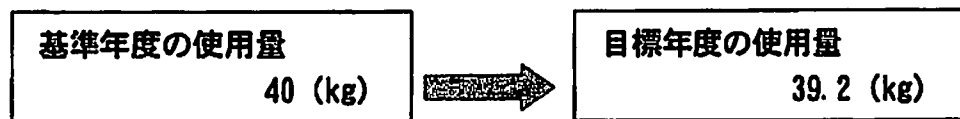
26年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも25年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】一般廃棄物は今後計量する

【目標3】コピー用紙使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 石油ストーブからベレットストーブの導入を検討する
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ④ 日中はエアコンをつけない。
- ⑤ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

(車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑤ 定期的に空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑥ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組 2】 廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別し再利用する。
- ④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑥ 製品をできるだけ長期間使用する。
- ⑦ 紙のリサイクルに努める。

【取組 3】 コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

【取組 4】 水の使用量の削減

- ① 効率的な水の利用に取り組む。
- ② 節水に努める。

環境行動計画の実施体制

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、専務取締役（環境管理責任者）全従業員が「具体的な取組」を実行します。